

学年:	4年生	Stage:	Stage II	コード:	L4402	単位:	3.3
モジュール名	口腔外科学			科目担当責任者	末永 英之		
モジュール名(英字)	Oral and Maxillofacial Surgery			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断、治療および予防を行うために必要な基本的診察技能を身につけ、口腔・顎顔面に発症する嚢胞性・腫瘍性疾患、損傷、発育異常、機能障害、唾液腺疾患および頭部疾患について、成因、病態、症状、治療、予後を理解し、臨床における診断力を身につける。また、外科領域における小手術の基本的な手技についてを学ぶ。						
ユニット:一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔顎顔面の疾患総論 口腔顎顔面の疾患の特徴、診断、検査、治療の総論を理解する。 2. 先天異常・後天異常 先天異常・後天異常の特徴、症状および治療法を理解する。 3. 炎症 炎症性疾患の特徴、診断と治療法について理解する。 4. 口腔粘膜疾患 口腔粘膜疾患の特徴、診断と治療法について理解する。 5. 嚢胞性疾患および類似疾患 顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法について理解する。 6. 良性腫瘍および類似疾患 顎顔面領域の良性腫瘍の診断と治療法について理解する。 7. 悪性腫瘍 顎顔面領域の悪性腫瘍の診断と治療法について理解する。 8. 口腔潜在的悪性疾患 口腔潜在的悪性疾患の診断と治療法について理解する。 9. 損傷 顎顔面領域の損傷の特徴、症状および治療法を理解する。 10. 顎関節疾患 顎関節疾患の種類、特徴、診断法および治療法を理解する。 11. 唾液腺疾患 唾液腺疾患の特徴、症状および治療法を理解する。 12. 血液疾患 血液疾患の特徴、症状および治療法について理解する。 13. 神経疾患 神経疾患の原因、症状、治療法を解説できる。 14. 手術総論、歯・歯槽および歯周組織の外科 抜歯をはじめとした小手術を適切に実施するために必要な基本的知識と技能を修得する。 						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	OP1,OP3
	a / a / a	a / a / a	a / a / a		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 口腔外科学 第4版/ 白砂兼光, 古郷幹彦 編/ 医歯薬出版
 教 3/ 標準口腔外科学 第5版/ 野間弘康, 瀬戸院一 編/ 医学書院
 教 4/ 新スタンダード口腔病理学/ 榎木恵一 他/ 学健書院
 教 8/ 口腔内科学 第3版/ 久保田英朗 他/ 永末書店
 教 9/ パーフェクトマスター 病理学・口腔病理学/ 榎木恵一 他/ 医歯薬出版
 参 5/ スタンダード病理学/ 下野正基 編/ 学健書院

評価方法

出 欠 席	履修ガイドに準じる。						
モジュール試験(%)	80						
アクティビティ(%)	20	レポートの内容を評価(レポート課題の提出:講義内、学生ポータルサイトに掲示予定)					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				20			
再試験の評価方法	筆記試験のみで評価する。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_025_6/1_1限	2026/06/01	1		講義	12番教室	60
ユニット	顎顔面の画像診断					
サブユニット	正常画像解剖					
授業目標	1) パノラマエックス線写真の正常解剖像について説明できる。 2) 口内法エックス線写真の正常解剖像について説明できる。 3) 各種口外法エックス線写真の正常解剖像について説明できる。 4) 特殊検査法の画像における正常解剖像について説明できる。					
キーワード	口内法エックス線写真、パノラマエックス線写真、頭部単純エックス線写真、CT、MRI					
担当	谷口 紀江					
学修範囲(事前事後学修)	新歯科放射線学第2版 p193-208 歯科臨床における画像診断アトラス 第2版:p2~29					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-6,D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-d,必修9-カ-e,総論VI-2-I-a,総論VI-2-I-b,総論VI-2-I-c,総論VI-2-I-d,総論VI-2-オ-a,総論VI-2-カ-a,総論VI-2-キ-a,総論VI-2-ク-a,総論VI-2-コ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_026_6/1_2限	2026/06/01	2		講義	12番教室	60
ユニット	顎顔面の画像診断					
サブユニット	画像診断の基礎的事項					
授業目標	1) 画像所見の表現について説明できる。 2) 画像所見について解釈できる。					
キーワード	境界、辺縁、透過像、不透過像、混在像、単胞性、多胞性					
担当	谷口 紀江					
学修範囲(事前事後学修)	新歯科放射線学第2版 p208-218					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-d,必修9-カ-e,総論VI-2-コ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_027_6/1_3限	2026/06/01	3		講義	12番教室	60
ユニット	腫瘍総論・口腔腫瘍各論 および 腫瘍類似疾患					
サブユニット	腫瘍総論の概要 口腔腫瘍					
授業目標	1)以下の項目について基本事項を理解する。 腫瘍の定義・分類・病因・発生機序・異型性・腫瘍の拡がり方 2) 口腔の腫瘍(非歯原性、非唾液腺腫瘍)の病理組織像を説明できる。					
キーワード	腫瘍の定義、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、化学発癌、多段階発癌説、癌遺伝子、癌抑制遺伝子、癌腫、肉腫、遺伝子異常、腫瘍マーカー、異型性、細胞異型、構造異型、前癌状態、前癌病変、口腔潜在性悪性疾患、直接浸潤、リンパ行性転移、血行性転移、口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患。					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 参考書5:スタンダード病理学 第11章 教科書9:パーフェクトマスター Chapter 8, 15 教科書4:新スタンダード口腔病理学 第2章A-□6, 第4章-B,C,D 事後学習 配布プリント, 教科書の確認					
コアカリ(令和4年)	A-5-6-1,A-5-6-2,A-5-6-3,A-5-6-4,A-5-6-5,A-5-6-6,D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,D-3-1-6-5,D-3-1-6-6					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-g,総論Ⅲ-1-コ-b,総論Ⅲ-1-コ-a,総論Ⅲ-1-コ-c,総論Ⅲ-1-コ-d,総論Ⅲ-1-コ-e,各論Ⅲ-1-カ-c,各論Ⅲ-1-オ-b,各論Ⅲ-1-オ-f,各論Ⅲ-1-オ-h,各論Ⅲ-1-オ-i,各論Ⅲ-1-オ-j,各論Ⅲ-1-オ-k,各論Ⅲ-1-カ-a,各論Ⅲ-1-カ-b,各論Ⅲ-1-カ-d,各論Ⅲ-1-カ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_028_6/1_4限	2026/06/01	4		講義	12番教室	60
ユニット	腫瘍総論・口腔腫瘍各論 および 腫瘍類似疾患					
サブユニット	腫瘍総論の概要 口腔腫瘍					
授業目標	1)以下の項目について基本事項を理解する。 腫瘍の定義・分類・病因・発生機序・異型性・腫瘍の拡がり方 2) 口腔の腫瘍(非歯源性、非唾液腺腫瘍)の病理組織像を説明できる。					
キーワード	腫瘍の定義、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、化学発癌、多段階発癌説、癌遺伝子、癌抑制遺伝子、癌腫、肉腫、遺伝子異常、腫瘍マーカー、異型性、細胞異型、構造異型、前癌状態、前癌病変、口腔潜在性悪性疾患、直接浸潤、リンパ行性転移、血行性転移、口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患。					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 参考書5:スタンダード病理学 第11章 教科書9:パーフェクトマスター Chapter 8, 15 教科書4:新スタンダード口腔病理学 第2章A-□6, 第4章-B,C,D 事後学習 配布プリント, 教科書の確認					
コアカリ(令和4年)	A-5-6-1,A-5-6-2,A-5-6-3,A-5-6-4,A-5-6-5,A-5-6-6,D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,D-3-1-6-5,D-3-1-6-6					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-g,総論Ⅲ-1-コ-b,総論Ⅲ-1-コ-a,総論Ⅲ-1-コ-c,総論Ⅲ-1-コ-d,総論Ⅲ-1-コ-e,各論Ⅲ-1-オ-b,各論Ⅲ-1-オ-f,各論Ⅲ-1-オ-h,各論Ⅲ-1-オ-i,各論Ⅲ-1-オ-j,各論Ⅲ-1-オ-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_029_6/5_1限	2026/06/05	1		講義	12番教室	60
ユニット	顎顔面の画像診断					
サブユニット	嚢胞の画像診断					
授業目標	1) 嚢胞の画像所見について説明できる。 2) 顎骨に発生する嚢胞の画像所見について説明できる。 3) 軟組織に発生する画像所見について説明できる。					
キーワード	歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯源性角化嚢胞、鼻口蓋管嚢胞、単純性骨嚢胞、静止性骨空洞、粘液嚢胞、類皮嚢胞、類表皮嚢胞、甲状舌管嚢胞、鼻歯槽嚢胞、					
担当	谷口 紀江					
学修範囲(事前事後学修)	新歯科放射線学第2版 p230-236 歯科臨床における画像診断アトラス第2版:p67-114 嚢胞性疾患の画像所見の特徴と顎骨ならびに軟組織に発生する嚢胞の画像所見について理解しておく。					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-6,D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅵ-2-コ-a,各論Ⅲ-2-カ-a,各論Ⅲ-2-カ-b,各論Ⅲ-2-カ-c,各論Ⅲ-2-カ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_030_6/5_2限	2026/06/05	2		講義	12番教室	60
ユニット	顎顔面の画像診断					
サブユニット	腫瘍・腫瘍性類似疾患の画像診断					
授業目標	1) 顎骨に発生する良性腫瘍と腫瘍類似疾患の画像診断ができる。 2) 軟組織に発生する良性腫瘍の画像診断ができる。 3) 口腔の悪性腫瘍の画像診断ができる					
キーワード	エナメル上皮腫、歯源性粘液腫、セメント質骨形成線維腫、線維性異形成症、セメント質骨性異形成症、血管腫、脂肪腫、Warthin腫瘍、扁平上皮癌、転移リンパ節					
担当	谷口 紀江					
学修範囲(事前事後学修)	新歯科放射線学第2版 p265-266 歯科臨床における画像診断アトラス第2版:p115-134,233~241 顎顔面領域に発生する悪性腫瘍の種類と画像所見について理解しておく。					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-6,D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9					

国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-オ-a,各論III-2-オ-b
--------------	------------------------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_031_6/5_3限	2026/06/05	3		講義	12番教室	60
ユニット	歯源性腫瘍					
サブユニット	歯源性腫瘍の病理					
授業目標	1)歯の組織発生と歯源性腫瘍を理解する。 2)歯源性器官に関連した腫瘍を理解する。					
キーワード	歯胚, 歯源性上皮, 歯源性外胚葉性間葉, 歯源性腫瘍のWHO分類					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 教科書4:新スタンダード口腔病理学 第4章-A 教科書9:パーフェクトマスター Chapter 14 事後学習 配布プリント, 教科書の確認					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2					
国試出題基準(令和5年)	各論III-2-カ-a,各論III-2-カ-b,各論III-2-カ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_032_6/5_4限	2026/06/05	4		講義	12番教室	60
ユニット	嚢胞および類似疾患					
サブユニット	嚢胞の病理診断					
授業目標	1)嚢胞の発生機序を説明できる。 2)歯源性嚢胞の病理組織像を説明できる。 3)非歯源性嚢胞の病理組織像を説明できる。					
キーワード	嚢胞の発生機序, 歯根嚢胞(残留嚢胞), 炎症性傍側性?胞(歯周嚢胞), 含菌性嚢胞, 歯源性角化嚢胞, 側方性歯周嚢胞, 歯肉嚢胞, 腺性歯源性嚢胞, 石灰化歯源性嚢胞, 正角化性歯源性嚢胞, 術後性線毛性?胞(術後性上顎?胞), 鼻口蓋管嚢胞, 鼻歯槽?胞, 頬皮?胞, 頬表皮?胞, ??胞, リンパ上皮性?胞, 甲状舌管嚢胞, 粘液?胞, 静止性骨空洞,					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 教科書4:新スタンダード口腔病理学 第3章 教科書9:パーフェクトマスター Chapter 17 事後学習 配布プリントと教科書の確認					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-5-1,D-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	各論III-2-オ-a,各論III-2-オ-b,各論III-1-エ-a,各論III-1-エ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_033_6/8_1限	2026/06/08	1		講義	12番教室	60
ユニット	嚢胞および類似疾患					
サブユニット	歯源性嚢胞					
授業目標	1) 炎症性嚢胞について説明できる。 2) 発育性嚢胞について説明できる。					
キーワード	歯根嚢胞、残留嚢胞、歯周嚢胞、含菌性嚢胞、萌出嚢胞、歯肉嚢胞					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p305?334 ②サクシント口腔外科学:p184?213 ③標準口腔外科学 第3版:p150?168					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-5-1,D-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	各論III-2-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_034_6/8_2限	2026/06/08	2		講義	12番教室	60
ユニット	嚢胞および類似疾患					
サブユニット	菌原性嚢胞					
授業目標	1) 発育性嚢胞について説明できる。					
キーワード	菌原性角化嚢胞、基底細胞母斑症候群					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p305?334 ②サクシント口腔外科学:p184?213 ③標準口腔外科学 第3版:p150?168					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-5-1,D-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_035_6/8_3限	2026/06/08	3		講義	12番教室	60
ユニット	嚢胞および類似疾患					
サブユニット	非菌原性嚢胞					
授業目標	1) 口腔の非菌原性嚢胞について説明できる。					
キーワード	鼻口蓋管嚢胞、術後性上顎嚢胞、鼻唇嚢胞					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p305?334 ②サクシント口腔外科学:p184?213 ③標準口腔外科学 第3版:p150?168					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-5-1,D-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_036_6/8_4限	2026/06/08	4		講義	12番教室	60
ユニット	嚢胞および類似疾患					
サブユニット	非菌原性嚢胞					
授業目標	1) 頸部の非菌原性嚢胞について説明できる。					
キーワード	類(表)皮嚢胞、鰓嚢胞、甲状舌管嚢胞					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p305?334 ②サクシント口腔外科学:p184?213 ③標準口腔外科学 第3版:p150?168					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-5-1,D-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-エ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_037_6/12_1限	2026/06/12	1		講義	12番教室	60
ユニット	良性腫瘍および類似疾患					
サブユニット	菌原性腫瘍					
授業目標	1) 菌原性腫瘍の発生について説明できる。 2) 菌原性腫瘍の分類について説明できる。 3) 菌原性腫瘍の症状について説明できる。 3) 菌原性腫瘍の診断・治療方針を説明できる。					
キーワード	エナメル上皮腫、腺様菌原性腫瘍、石灰化嚢胞性菌原性腫瘍、エナメル上皮線維腫、歯牙腫、菌原性粘液腫、セメント芽細胞腫					

担当	西久保 周一
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p305?334 ②サクシント口腔外科学:p184?213 ③標準口腔外科学 第3版:p150?168
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-オ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_038_6/12_2限	2026/06/12	2		講義	12番教室	60
ユニット	良性腫瘍および類似疾患					
サブユニット	歯源性腫瘍					
授業目標	1) 歯源性腫瘍の発生について説明できる。 2) 歯源性腫瘍の分類について説明できる。 3) 歯源性腫瘍の症状について説明できる。 3) 歯源性腫瘍の診断・治療方針を説明できる。					
キーワード	エナメル上皮腫、腺様歯源性腫瘍、石灰化嚢胞性歯源性腫瘍、エナメル上皮線維腫、歯牙腫、歯源性粘液腫、セメント芽細胞腫					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p233?253 ②サクシント口腔外科学:p214?271 ③標準口腔外科学 第3版:p169?201、p238?249					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-カ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_039_6/12_3限	2026/06/12	3		講義	12番教室	60
ユニット	良性腫瘍および類似疾患					
サブユニット	非歯源性腫瘍および類似疾患					
授業目標	1) 歯源性腫瘍の発生について説明できる。 2) 歯源性腫瘍の分類について説明できる。 3) 歯源性腫瘍の症状について説明できる。 3) 歯源性腫瘍の診断・治療方針を説明できる。					
キーワード	乳頭腫、線維腫、骨形成線維腫、骨腫、軟骨腫、筋腫、血管腫、神経鞘腫、神経線維腫、スタージウエバー症候群、ガードナー症候群、レックリングハウゼン病					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p233?253 ②サクシント口腔外科学:p214?271 ③標準口腔外科学 第3版:p169?201、p238?249					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_040_6/12_4限	2026/06/12	4		講義	12番教室	60
ユニット	良性腫瘍および類似疾患					
サブユニット	非歯源性腫瘍および類似疾患					
授業目標	1) 非歯源性腫瘍・腫瘍類似疾患の分類を説明できる。 2) 非歯源性腫瘍・腫瘍類似疾患の症状を説明できる。 3) 非歯源性腫瘍・腫瘍類似疾患の治療方針を説明できる。					
キーワード	乳頭腫、線維腫、骨形成線維腫、骨腫、軟骨腫、筋腫、血管腫、神経鞘腫、神経線維腫、スタージウエバー症候群、ガードナー症候群、レックリングハウゼン病					
担当	西久保 周一					

学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p233?253 ②サクシント口腔外科学:p214?271 ③標準口腔外科学 第3版:p169?201、p238?249
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-オ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_041_6/15_1限	2026/06/15	1		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍1					
サブユニット	悪性腫瘍総論					
授業目標	1) 口腔癌の特徴を説明できる。 2) 口腔癌の原因を説明できる。 3) 口腔癌の発生機序を説明できる。					
キーワード	口腔癌の疫学、癌遺伝子、原抑制遺伝子、多段階発癌、腫瘍マーカー					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-3,D-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-1-コ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_042_6/15_2限	2026/06/15	2		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍1					
サブユニット	悪性腫瘍総論					
授業目標	1) 口腔癌の診断の流れを説明できる。					
キーワード	視診、触診、画像診断、生検、病理組織診断、TNM分類、Stage分類					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-3,D-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-1-コ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_043_6/15_3限	2026/06/15	3		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍1					
サブユニット	悪性腫瘍総論					
授業目標	1) 口腔癌の治療法を説明できる。					
キーワード	手術療法、化学療法、放射線療法					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-3,D-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-5-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L4402_044_6/15_4限	2026/06/15	4		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍1					
サブユニット	悪性腫瘍総論					
授業目標	1) 口腔癌の終末期医療と緩和ケアを説明できる。					
キーワード	終末期医療、緩和ケア					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,E-6-1-1,E-6-1-2,E-6-2-1,E-6-2-2,E-6-2-3					
国試出題基準(令和5年)	総論VII-5-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_045_6/19_1限	2026/06/19	1		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍2					
サブユニット	悪性腫瘍各論					
授業目標	1) 舌癌・歯肉癌 の診断・治療を説明できる。					
キーワード	舌癌、歯肉癌					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-4,D-3-1-6-5					
国試出題基準(令和5年)	各論III-1-オ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_046_6/19_2限	2026/06/19	2		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍2					
サブユニット	悪性腫瘍各論					
授業目標	1) 口底癌・その他の癌の診断・治療を説明できる。					
キーワード	口底癌・その他の癌					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p173?176,190?196,222 ②サクシント口腔外科学:p308?313					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-3,D-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	各論III-1-オ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_047_6/19_3限	2026/06/19	3		講義	12番教室	60
ユニット	悪性腫瘍2					
サブユニット	前癌病変と前癌状態					
授業目標	1) 前癌病変と前癌状態の定義を説明できる。 2) 白板症、紅板症、前癌状態の症状を説明できる。 3) 白板症、紅板症、前癌状態の診断と治療方針を説明できる					
キーワード	白板症、紅板症、口腔扁平苔癬					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版:p213?221,225?232,254?157,289?304 ②サクシント口腔外科学:p272?307 ③標準口腔外科学 第3版:p202?238					

コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-5,D-3-1-6-6
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-オ-j

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_048_6/19_4限	2026/06/19	4		講義	12番教室	60
ユニット	損傷					
サブユニット	軟組織の損傷、歯の外傷					
授業目標	1) 損傷の種類を列挙し、説明できる。 2) 顔面軟組織の外傷を説明できる。 3) 口腔軟組織の損傷を説明できる。 4) 原因・症状・診断・治療方針を説明できる。 5) 治癒過程を説明できる。 6) 歯の脱臼・破折の原因を説明できる。 7) 症状を列挙し、説明できる。 8) 診断・治療方針を説明できる。 9) 画像診断ができる。					
キーワード	開放性損傷、非開放性損傷、挫創、刺創、挫傷、擦過創、熱傷 破折、完全脱臼、不完全脱臼					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-2-1,D-3-1-2-2,D-3-1-2-3,D-3-1-2-4,D-3-1-2-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-ウ-a,各論Ⅲ-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_049_6/22_1限	2026/06/22	1		講義	12番教室	60
ユニット	損傷					
サブユニット	骨の外傷、下顎骨折					
授業目標	1) 骨折の種類を説明できる。 2) 骨折の治癒過程を説明できる。 3) 歯槽突起部骨折の原因・症状を説明できる。 4) 歯槽突起部骨折の診断・治療方針を説明できる。 5) 画像診断ができる。 6) 下顎骨骨折の原因・症状を説明できる。 7) 画像診断ができる。					
キーワード	複雑骨折、若木骨折、介達骨折、病的骨折、陳旧性骨折、骨片偏位、整復、固定 骨片偏位、顔貌変形、Malgaigneの骨折痛					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-2-1,D-3-1-2-2,D-3-1-2-3,D-3-1-2-4,D-3-1-2-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_050_6/22_2限	2026/06/22	2		講義	12番教室	60
ユニット	損傷					
サブユニット	上顎骨折、眼窩底骨折、頭蓋底骨折、合併症					

授業目標	1) 上顎骨骨折の原因・症状を説明できる。 2) 上顎骨骨折の分類が説明できる。 3) 上顎骨骨折の診断・治療方針を説明できる。 4) 画像診断ができる。 5) 頬骨・頬骨弓骨折の原因・症状を説明できる。 6) 頬骨・頬骨弓骨折の診断・治療方針を説明できる。 7) 眼窩底骨折の原因・症状を説明できる。 8) 眼窩底骨折の診断・治療方針を説明できる。 9) 眼窩底骨折・頭蓋底骨折の合併症を説明できる。
キーワード	LeFort分類Ⅰ～Ⅲ型、Waters投影法 頬骨骨折、頬骨弓骨折、眼症状、吹き抜け骨折、眼球運動障害 眼窩底骨折、頭蓋底骨折、鼻骨折など
担当	末永 英之
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版
コアカリ(令和4年)	D-3-1-2-1,D-3-1-2-2,D-3-1-2-3,D-3-1-2-4,D-3-1-2-5
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-ウ-d,各論Ⅲ-2-ウ-e,各論Ⅲ-3-ウ-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_051_6/22_3限	2026/06/22	3		講義	12番教室	60
ユニット	唾液腺疾患					
サブユニット	唾液腺の構造、発育異常、唾石症					
授業目標	1)唾液腺の構造と機能を説明できる。 2)唾液の性状と機能を説明できる。 3)形成不全と形態異常の原因、症状および治療法を説明できる。 4)唾石症の原因、症状および治療法を説明できる。					
キーワード	大唾液腺、小唾液腺、先天性唾液腺形成不全、迷入唾液腺、唾石症					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学習 口腔外科学第4版p376～382 4 2)(1)検査方法,385 2 発育異常～388 3 唾石症 ・事後学習 口腔外科学第4版p376～430 講義配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ア-a,各論Ⅲ-3-ア-b,各論Ⅲ-3-ア-c,各論Ⅲ-3-ア-d,各論Ⅲ-3-ア-e,各論Ⅲ-3-ア-f,各論Ⅲ-3-ア-g,各論Ⅲ-3-ア-h,各論Ⅲ-3-ア-i,各論Ⅲ-3-ア-j,各論Ⅲ-3-ア-k,各論Ⅲ-3-ア-l,各論Ⅲ-3-ア-m					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_052_6/22_4限	2026/06/22	4		講義	12番教室	60
ユニット	唾液腺疾患					
サブユニット	炎症性疾患、ウイルス性唾液腺炎、Sjogren症候群					
授業目標	1)炎症性疾患の原因、症状および治療法を説明できる。 2)ウイルス性唾液腺炎の原因、症状および治療法を説明できる。 3)Sjogren症候群の原因、症状および治療法を説明できる。					
キーワード	細菌感染、ウイルス感染、自己免疫疾患					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	・事後学習 口腔外科学第4版p376～430 講義配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ア-a,各論Ⅲ-3-ア-b,各論Ⅲ-3-ア-c,各論Ⅲ-3-ア-d,各論Ⅲ-3-ア-e,各論Ⅲ-3-ア-f,各論Ⅲ-3-ア-g,各論Ⅲ-3-ア-h,各論Ⅲ-3-ア-i,各論Ⅲ-3-ア-j,各論Ⅲ-3-ア-k,各論Ⅲ-3-ア-l,各論Ⅲ-3-ア-m					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_053.6/26.1限	2026/06/26	1		講義	12番教室	60
ユニット	唾液腺疾患					
サブユニット	嚢胞性疾患、腫瘍状病変					
授業目標	1)嚢胞生疾患の原因、症状および治療法を説明できる。 2)腫瘍状病変の原因、症状および治療法を説明できる。					
キーワード	粘液貯留嚢胞、ガマ腫、良性リンパ性上皮性病変、Heerfordt症候群、唾液腺症、オンコサイト症、壊死性唾液腺化生					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	・事後学習 口腔外科学第4版p376～430 講義配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ア-a,各論Ⅲ-3-ア-b,各論Ⅲ-3-ア-c,各論Ⅲ-3-ア-d,各論Ⅲ-3-ア-e,各論Ⅲ-3-ア-f,各論Ⅲ-3-ア-g,各論Ⅲ-3-ア-h,各論Ⅲ-3-ア-i,各論Ⅲ-3-ア-j,各論Ⅲ-3-ア-k,各論Ⅲ-3-ア-l,各論Ⅲ-3-ア-m					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_054.6/26.2限	2026/06/26	2		講義	12番教室	60
ユニット	唾液腺疾患					
サブユニット	唾液腺腫瘍					
授業目標	1)唾液腺腫瘍の原因、症状および治療法を説明できる。 2)外科療法の後遺症を説明できる。					
キーワード	多形腺腫、Warthin腫瘍、粘表皮癌、腺様嚢胞癌、舌神経麻痺、顔面神経麻痺、Frey症候群					
担当	石井 滋					
学修範囲(事前事後学修)	・事後学習 口腔外科学第4版p376～430 講義配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ア-a,各論Ⅲ-3-ア-b,各論Ⅲ-3-ア-c,各論Ⅲ-3-ア-d,各論Ⅲ-3-ア-e,各論Ⅲ-3-ア-f,各論Ⅲ-3-ア-g,各論Ⅲ-3-ア-h,各論Ⅲ-3-ア-i,各論Ⅲ-3-ア-j,各論Ⅲ-3-ア-k,各論Ⅲ-3-ア-l,各論Ⅲ-3-ア-m					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_055.6/26.3限	2026/06/26	3		講義	12番教室	60
ユニット	口腔粘膜疾患2					
サブユニット	口腔粘膜疾患の病理					
授業目標	1) 口腔粘膜疾患の病理組織像を説明できる。					
キーワード	再発性アフタ性口内炎、口腔カンジダ症、ヘルペス性口内炎(単純疱疹)、口腔扁平苔癬、白板症、紅板症、口腔上皮異形成、天疱瘡、類天疱瘡(粘膜類天疱瘡)、口腔扁平上皮癌					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 参考書5:スタンダード病理学 第6,7,8,11章、教科書9:パーフェクトマスター Chapter 13,15、教科書4:新スタンダード口腔病理学 第2章A,第4章D、事後学習、配布プリント、教科書の確認					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-4-1,D-3-1-4-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-1-ク-a,各論Ⅲ-1-ク-b,各論Ⅲ-1-ク-c,各論Ⅲ-1-ク-d,各論Ⅲ-1-ク-e,各論Ⅲ-1-ク-f,各論Ⅲ-1-ク-g,各論Ⅲ-1-ク-h,各論Ⅲ-1-ク-i,各論Ⅲ-1-ク-j,各論Ⅲ-1-ク-k,各論Ⅲ-1-ク-l,各論Ⅲ-1-ク-m,各論Ⅲ-1-ク-n,各論Ⅲ-1-ク-o,各論Ⅲ-1-ク-p					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_056.6/26.4限	2026/06/26	4		講義	12番教室	60
ユニット	唾液腺疾患					
サブユニット	唾液腺疾患の病理、その他(組織診・細胞診・各種染色 など)					

授業目標	1) 唾液腺疾患の病理組織像を説明できる。2)組織診・細胞診・各種染色を説明できる。
キーワード	多形腺腫、ワルチン腫瘍、粘表皮癌、腺様嚢胞癌、腺房細胞癌
担当	窪田 展久
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 参考書5:スタンダード病理学 第1章、教科書9:パーフェクトマスター Chapter 16,19、教科書4:新スタンダード口腔病理学 第1章,第5章、事後学習、配布プリント、教科書の確認
コアカリ(令和4年)	D-2-6-1,D-3-1-8-4
国試出題基準(令和5年)	必修9-キ-a,必修9-キ-b,総論VI-3 -7-f,各論Ⅲ-3-7-g,各論Ⅲ-3-7-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_057.6/29_1限	2026/06/29	1		講義	12番教室	60
ユニット	顎関節疾患					
サブユニット	顎関節の疾患総論、顎関節疾患の診断					
授業目標	1) 顎関節の解剖 2) 関節軟骨と滑液 3) 顎関節の画像検査法 4) 顎関節の画像診断					
キーワード	関節円板、ヒアルロン酸 関節円板障害、咀嚼筋痛障害、変形性顎関節症、顎関節撮影、パノラマエックス線撮影、MRI、CT					
担当	荻澤 翔平					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-7-1,D-3-1-7-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ウ1					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_058.6/29_2限	2026/06/29	2		講義	12番教室	60
ユニット	顎関節疾患					
サブユニット	顎関節症の診断・治療					
授業目標	1) 顎関節症の病態 2) 顎関節症の治療					
キーワード	関節円板障害、咀嚼筋痛障害、変形性顎関節症					
担当	荻澤 翔平					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-7-1,D-3-1-7-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ウ1					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_059.6/29_3限	2026/06/29	3		講義	12番教室	60
ユニット	顎関節疾患					
サブユニット	顎関節症と類似の症状を示す疾患					
授業目標	1) 骨折、脱臼、顎関節強直症、慢性関節リウマチ					
キーワード	整復術、固定術、授動術					
担当	荻澤 翔平					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-7-1,D-3-1-7-2					

国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-ウ-c,各論Ⅲ-3-ウ-d,各論Ⅲ-3-ウ-g,各論Ⅲ-3-ウ-k
--------------	---

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_060_6/29_4限	2026/06/29	4		講義	12番教室	60
ユニット	顎関節疾患					
サブユニット	その他の顎関節疾患					
授業目標	1) 神経痛、頭痛、非定型顔面痛 2) ジストニア 3) 破傷風					
キーワード	片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛					
担当	荻澤 翔平					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-7-1,D-3-1-7-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-イ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_061_7/3_1限	2026/07/03	1		講義	12番教室	60
ユニット	血液疾患					
サブユニット	貧血の診断と検出					
授業目標	1) 貧血の症状 2) 貧血の原因と検査法 3) 貧血の治療法					
キーワード	鉄欠乏性貧血、悪性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	口腔内科学3章					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-10-1,D-3-1-10-10,D-3-1-10-11					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-4-ク-a,各論Ⅲ-4-ク-b,各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-c,各論Ⅲ-4-ケ-d,各論Ⅲ-4-サ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_062_7/3_2限	2026/07/03	2		講義	12番教室	60
ユニット	血液疾患					
サブユニット	白血病、その他の血液疾患の診断と検査					
授業目標	1) 白血病 2) 悪性リンパ腫 3) 多血症 4) 顆粒球減少症 5) 多発性骨髄腫 6) ラングハンス細胞組織球症					
キーワード	フィラデルフィア染色体、白血病裂孔、アウエル小体、ホジキン病、非ホジキンリンパ腫、Bence-Johnsタンパク,Ann Arbor分類、エリスロポエチン、G-CSF					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	口腔内科学5章1					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-10-1,D-3-1-10-10,D-3-1-10-11					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-4-ク-a,各論Ⅲ-4-ク-b,各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-c,各論Ⅲ-4-ケ-d,各論Ⅲ-4-コ-a,各論Ⅲ-4-コ-b,各論Ⅲ-4-コ-c,各論Ⅲ-4-コ-d,各論Ⅲ-4-コ-e,各論Ⅲ-4-コ-f,各論Ⅲ-4-サ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L4402_063_7/3_3限	2026/07/03	3		講義	12番教室	60
ユニット	血液疾患					
サブユニット	出血性素因の診断と検査					
授業目標	1) 出血性素因の原因と疾患 2) 出血性素因の検査法					
キーワード	血小板数、APTT(activated partial thromboplastin time:活性化部分トロンボプラスチン時間、PT(prothrombin time:プロトロンビン時間)、出血時間(Duke法)、Rumpel Leede法、紫斑病、血友病、von Willebrand病、DIC					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	口腔内科学5章1					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-10-1,D-3-1-10-10,D-3-1-10-11					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-c,各論Ⅲ-4-ケ-d,各論Ⅲ-4-コ-a,各論Ⅲ-4-コ-b,各論Ⅲ-4-コ-c,各論Ⅲ-4-コ-d,各論Ⅲ-4-コ-e,各論Ⅲ-4-コ-f,各論Ⅲ-4-サ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_064_7/3_4限	2026/07/03	4		講義	12番教室	60
ユニット	血液疾患					
サブユニット	血液疾患の口腔内所見と口腔管理					
授業目標	1) 白血病患者の口腔内所見 2) その他血液疾患患者の口腔内所見 3) GVHD					
キーワード	白血病、GVHD、骨髄移植					
担当	西久保 周一					
学修範囲(事前事後学修)	口腔内科学5章1					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-10-1,D-3-1-10-10,D-3-1-10-11					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-a,各論Ⅲ-4-ケ-b,各論Ⅲ-4-ケ-c,各論Ⅲ-4-ケ-d,各論Ⅲ-4-コ-a,各論Ⅲ-4-コ-b,各論Ⅲ-4-コ-c,各論Ⅲ-4-コ-d,各論Ⅲ-4-コ-e,各論Ⅲ-4-コ-f,各論Ⅲ-4-サ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_065_7/6_1限	2026/07/06	1		講義	12番教室	60
ユニット	神経疾患					
サブユニット	神経疾患総論					
授業目標	1) 口腔顎顔面領域の神経と解剖					
キーワード	三叉神経、舌咽神経、顔面神経、迷走神経					
担当	沢井 奈津子					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-9-1,D-3-1-9-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-イ-a,各論Ⅲ-3-イ-b,各論Ⅲ-3-イ-c,各論Ⅲ-3-イ-d,各論Ⅲ-3-イ-e,各論Ⅲ-3-イ-f,各論Ⅲ-3-イ-g,各論Ⅲ-3-イ-h,各論Ⅲ-3-イ-i,各論Ⅲ-3-イ-j,各論Ⅲ-3-イ-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_066_7/6_2限	2026/07/06	2		講義	12番教室	60
ユニット	神経疾患					
サブユニット	神経痛、非定型顔面痛					
授業目標	1) 三叉神経痛 2) 舌咽神経痛 3) 神経障害性疼痛					
キーワード	Valleixの圧痛点、Patrickの発痛帯					
担当	沢井 奈津子					

学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版
コアカリ(令和4年)	D-3-1-9-4
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-1-a,各論Ⅲ-3-1-b,各論Ⅲ-3-1-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_067_7/6_3限	2026/07/06	3		講義	12番教室	60
ユニット	神経疾患					
サブユニット	神経麻痺					
授業目標	1) 顔面神経麻痺 2) その他の神経麻痺					
キーワード	ベル麻痺、Hunt症候群					
担当	沢井 奈津子					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第3版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-9-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-1-b,各論Ⅲ-3-1-c,各論Ⅲ-3-1-e,各論Ⅲ-3-1-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_068_7/6_4限	2026/07/06	4		講義	12番教室	60
ユニット	神経疾患					
サブユニット	けいれん、口腔顎顔面痛、非定型歯痛など					
授業目標	1) けいれん 2) 心因性病態					
キーワード	てんかん、痙攣発作、失神、過換気症候群、心因性発作、心身症、非定型顔面痛、非定型歯痛、疼痛障害					
担当	沢井 奈津子					
学修範囲(事前事後学修)	①口腔外科学 第4版 ②サクシント口腔外科学 ③標準口腔外科学 第4版					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-9-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-3-1-f,各論Ⅲ-3-1-i,各論Ⅲ-3-1-j,各論Ⅲ-3-1-k					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_069_7/10_1限	2026/07/10	1		講義	12番教室	60
ユニット	手術学総論					
サブユニット	小手術の基本的な手技					
授業目標	1) 消毒法 2) 基本器材 3) 切開・剥離法 4) 止血法 5) 縫合法 6) 輸血法					
キーワード	消毒、滅菌、切開、止血法、縫合法、注射法					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学習 口腔外科学第4版p487-506 ・事後学習 配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-1-1,D-1-2-1-2,D-1-2-1-3,D-1-2-1-4,D-1-2-1-5,D-5-4-1,D-5-4-2,D-5-4-3,D-5-4-4,D-5-4-5,D-5-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ウ-b,必修11-エ-a,必修11-エ-b,必修11-エ-c,必修11-エ-d,必修11-エ-a,必修11-キ-b,必修11-キ-c,必修11-ケ-a,必修11-ケ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_070_7/10_2限	2026/07/10	2		講義	12番教室	60

ユニット	手術学各論
サブユニット	拔牙、小手術
授業目標	1)拔牙および小手術に使用する道具について説明できる。2)あらゆる拔牙および小手術の手技を理解する。3)拔牙および小手術に伴う併発症について理解する。
キーワード	下拔牙の適応症と禁忌症、鉗子、挺子、単純拔牙、難拔牙、拔牙の併発症、歯の移植・再植術、歯槽堤形成術、小帯切除術、浮動粘膜切除術、ガマ腫の開窓、唾石摘出術、切開排膿手術、歯根尖切除、嚢胞摘出術
担当	末永 英之
学修範囲(事前事後学修)	・事前学習 口腔外科学第4版p507-526 ・事後学習 配布資料
コアカリ(令和4年)	D-5-4-1,D-5-4-2,D-5-4-3,D-5-4-4,D-5-4-5,D-5-4-6
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-4-ア-a,総論Ⅶ-4-ア-b,総論Ⅶ-4-ア-c,総論Ⅶ-4-ア-d,総論Ⅶ-4-ア-e,総論Ⅶ-4-ア-f,総論Ⅶ-4-ア-g,総論Ⅶ-4-ア-h

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_071_7/10_3限	2026/07/10	3		実習	基礎実習室2,基礎実習室1,臨床実習室2	60
ユニット	手術学実習					
サブユニット	小手術の基本的な手技					
授業目標	手洗い、手袋装着、消毒、浸潤麻酔について、仮想現実(VR)技術を活用して作成した立体動画で手技を理解し、さらに実際の器材を用いて実践することで技能を修得する。					
キーワード	手洗い、手袋装着、消毒、浸潤麻酔					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学習 口腔外科学第4版p487-506 ・事後学習 配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-4-1,D-5-4-2,D-5-4-3,D-5-4-4,D-5-4-5,D-5-4-6					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-4-ア-a,総論Ⅶ-4-ア-b,総論Ⅶ-4-ア-c,総論Ⅶ-4-ア-d,総論Ⅶ-4-ア-e,総論Ⅶ-4-ア-f,総論Ⅶ-4-ア-g,総論Ⅶ-4-ア-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4402_072_7/10_4限	2026/07/10	4		実習	基礎実習室2,基礎実習室1,臨床実習室2	60
ユニット	手術学実習					
サブユニット	小手術の基本的な手技					
授業目標	拔牙、縫合について、仮想現実(VR)技術を活用して作成した立体動画で手技を理解し、さらに実際の器材を用いて実践することで技能を修得する。					
キーワード	拔牙、縫合、触診					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学習 口腔外科学第4版p487-506 ・事後学習 配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-4-1,D-5-4-2,D-5-4-3,D-5-4-4,D-5-4-5,D-5-4-6					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-4-ア-a,総論Ⅶ-4-ア-b,総論Ⅶ-4-ア-c,総論Ⅶ-4-ア-d,総論Ⅶ-4-ア-e,総論Ⅶ-4-ア-f,総論Ⅶ-4-ア-g,総論Ⅶ-4-ア-h					